



承天寺通信

令和4年(2022)正月 VOL.5

発行者 承天寺

忍野村内野 192 0555-84-2356

頌春

令和四年 正月

臨済宗妙心寺派
醫王山 承天寺



謹んで新年の御祝詞を申し上げます

承天寺檀信徒の皆様におかれましては、令和四年の新春を
ご清祥にてお迎えの事と存じ お慶び申し上げます。



承天寺住職 船場 正議

おかげをもちまして、昨年末やつと承天寺山門修復工事が着
工致しました。承天寺十七世 章鳳和尚が一七九四年に建立し、
以来二百有余年に亘りご先祖様が大事にされた山門です。
平成三十年一月より長い期間で御座いましたが、この新年の
曙光と共に皆様に報告できましたこと誠に有難く存じます。
山門は、禅宗寺院の七堂伽藍(がらん)の一つで、お寺の正式
な入口でございます。山門をくぐり参道を抜け、そして本尊
「お薬師さま」に掌を合す。「おかげさま」の感謝の気持ちと、
心穏やかにして、今年こそ皆様が益々ご健勝で保福安寧の
素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。 合掌



檀徒総代長 田邊 弘巳

新年明けましておめでとございます

旧年はコロナに翻弄された一年でありました。承天寺でも色々
な行事の中止等余儀なくされました。そうした中に明るくい出
来事も有りました。皆様に大変ご心配を掛けました山門の解
決をみました。昨年九月十日 石川工務所さんと請負契約を済
ませ、十月三十一日に地鎮祭を工事関係者及び承天寺役員列席
の下に執り行われました。完成予定は本年六月頃となります。

また 承天寺東側駐車場が整備されました。内野区会内野地
区出身の村議会議員の皆様の要望等を受け 地域住民の幅広い
活用、また 地域のお寺として今後も宜しくお願い致します。

本年も宜しく

お願いします

承天寺役員一同

総代長 田邊 弘巳

総代 米山 鐵平

櫻井 隆彰

湯山 迪夫

世話人 天野 智博

小山田 喜久

柏木 清吉

川口 一郎

小林 茂幸

櫻井 格光

須山 公憲

田邊 明治

中野 正美

羽田 良夫

三浦 友一

湯山 修

米山 喜一郎

渡邊 亜聖

渡邊 省吉

渡邊 清七

渡邊 孝之

渡邊 斗男

渡邊 輝喜

渡邊 哲夫

顧問

山門修復工事

9/10 工事請負契約締結・10/31 地鎮祭を挙行

平成 30 年 1 月の事故以来、修復につきまして保険会社や関係向きと鋭意折衝を重ねて参りましたが、補償内容や金額・再建の条件等で折り合いが付かず、檀信徒の皆さまには大変ご不便とご心配をお掛けして参りましたが、いよいよ着工の運びとなりました。

- 施工業者 山梨県甲州市塩山上於曾 1990
伝匠舎 (株) 石川工務所 代表取締役 石川重人氏
- 契約締結 令和 3 年 9 月 10 日
承天寺にて総代立会の下に調印
- 地鎮祭 令和 3 年 10 月 31 日
工事関係者及び承天寺役員列席
- 着 工 11 月 29 日 (山門 山号額の取り外し等～)
- 完成予定 令和 4 年 6 月頃



9/10 工事請負契約締結



10/31 山門地鎮回向 船場住職



鍬入れ 石川社長



鎌入れ 田邊総代長



参列の皆さん

伝匠舎 (株) 石川工務所



ご挨拶

かけがえのない伝匠の場をいただき、ありがとうございます。良き仕事をして、更に長生き建築を目指して参ります。工事中には何かとご不便をお掛けしますが、どうぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。 代表取締役 石川 重人

施工業者紹介

会社の起こりは、身延町下山に本拠を置く「下山大工」集団。1156 年から山梨の地で操業、社寺仏閣の堂宮建築に携わってきた。その数は、大正以降だけでも 400 棟以上。大正 7 年 家業を継いだ前々社長が、新たに石川工務所を設立。以来 文化財の再生や保存修理も多く手掛けており、日々の工夫や経験の積み重ねにより完成度高い仕事を実現している。 現在も “ 地域に根ざした社寺建築に携わる事が、日本の歴史文化を未来に伝える為の一助になれば ” という思いで、今日も仕事をしている。 資本金 2,000 万円 社員数 26 名

• 石川一族の足跡 1646 年 南部町浅間神社本殿・1767 甲州善光寺山門・1789 甲州善光寺金堂
(一部) 1818～30 甲州市向嶽寺仏殿・1905 甲州市塩山恵林寺仏殿 等代々の棟梁 他 (HP より)

承天寺豆知識

この飾りの名称は…? 宝鐸(ホウチャク)です。
堂塔の軒の四隅などに飾りとして吊るす大型の風鈴。
野草にも花の形状が似ているホウチャク草があります。
ユリ科の多年草で 山地の林の中に生え、緑白色の筒状の花を下向きに付けます。



7/25 「動物霊園」例大祭 11:00～

家族の一員として一緒に暮らし可愛がり、そして癒され、今は亡き愛するペットたちの冥福を祈り、感謝の花や香を供えておりました。ほぼ全柱のご家族の皆さんが出席され本堂での回向の後、霊園にお参りをしました。



散々な 8 月…

コロナウイルス感染拡大と 異常気象続く

8/7 樹木葬総供養 11:00～

樹木葬開眼から2年有余。コロナ拡大の中、本堂にて「承詠会」の皆さんのご詠歌に続き 読経～参列者の焼香等 追善供養が粛々と進められ、その後 ご遺族は 小雨も上がった墓地で故人を偲び 夫々お参りをしました。



お盆期間の状況… コロナ禍と雨

8月5日 コロナの一日の感染者が、東京で 5,042 名と感染率の高いデルタ株が急拡大し、第 5 波が深刻化する要因となる。山梨県では 67 名が感染。 7 日 山梨県の感染者が 一日 79 名と最多を更新。

9 日 暴風雨。日本列島は前線が停滞し、特に長崎・広島では「線状降雨帯」が発生し大雨で災害発生。

13 日 終日雨で、盆の迎え火も焚くことが出来ず。

14 日 雨・国のコロナに係る「緊急事態宣言」拡大に加え、山梨県は「まん延防止等重点措置」が適用され、忍野村は公共施設の休業を、9 月 12 日まで延長。 14～15 日 雨

このような状況下で、各戸を回る例年の棚経は手段を変更して、遺族や親族の方々が承天寺本堂に会し、故人・ご先祖を偲び、過ぎし日の思いも新たに供養いたしました。

7 日 新盆供養 10:00～ 樹木葬供養の前に執り行う。

30 数名のご家族が参列され、つい先日までの元気な姿を思い浮かべ、無情な時の流れのなかで故人を偲びご冥福を祈りました。

14～16 日 例年の盆棚経(本堂)

毎日 6 時 ・10 時 ・13 時に、本堂にて追善供養を行う。

早朝から毎回、多くの皆さまにお参りいただきました。



9/23 秋彼岸供養・檀徒総会

早い紅葉が鐘楼堂に映える秋晴れの日。彼岸法要の後、檀徒総会を開催。前年度の「事業報告・収支決算」が報告されました。



10/31 薬師講中斎 11:00～

読経から焼香と法要の後、今年更新して「2,700 玉」に増えた数珠を、「オンコロコロ センダリ マトウギ ソワカ」と、ご真言を唱えながら本堂一杯に廻し、先祖の冥福を祈り、生きとし生ける者の安泰を祈りました。最後は、早川先生の「お灸の話と ツボの解説と実演」を楽しみました。



※ 各供養はコロナ感染防止の為、消毒・マスク着用・通気・席の間隔等 充分留意して実施した。

災害時の避難場所・

区民の多目的広場 完成

12/4 竣工式挙行

区会事務所前広場の「借地利用契約」が一昨年3月に満了し、村の契約更新の折衝も折り合いがつかず、今日まで使用できませんでした。

区会事務所は、内野区会と婦人会等、多くの各種団体が活動して村行政の一端を担い、更に防災の拠点となる安心・安全の大変重要な場所であり、駐車スペースや多目的な広場が必要です。従前はこの場所で防災訓練や盆踊り大会などを盛大に開催しており、この広場減少の現状を内野区民も、各種団体も大変危惧しておりました。

検討を続けてきた内野区会（櫻井利治区長）が率先して、内野区の中核となる広場の必要性を訴え、元内野保育園の有った承天寺境内の駐車場の借用について、承天寺の総代役員に懇願・検討し、内野区民や区選出村議に相談と村当局への折衝・嘆願を重ねた結果、各位のご尽力により、向う30年間の利用契約を締結し、広場の利用が可能となった。

当地は未舗装で危険な為、これを内野区で整備し12月4日に関係各位の列席の下、竣工式と記念碑の除幕式が挙行されました。

今後は、災害時の避難場所としては勿論、防災訓練や盆踊り大会など、地域の皆さまに幅広くご利用いただきます。

同時に設置した記念碑には、承天寺 船場住職揮毫の「山呼萬歳聲」（山は呼ぶ萬歳の声）が刻まれており、区民の喜びの輪が広がります。

（利用についての詳細は内野区会、又は承天寺までお願いします）



記念碑除幕



記念碑開眼回向



参列者記念撮影



行事予定

（諸般の事由により期日など 変更する場合があります）

3/21(月) 彼岸中日・戦没者慰霊祭

4/8(金) 花祭り

6/24(金) 聞き耳地藏尊供養

7月 動物供養例大祭

8/7(日) 新盆供養・樹木葬総供養

8/13(土) 新盆参り

8/14(日) ～ 16(火) 盆供養(棚経)

8/16 お焚き上げ

9月 彼岸会・檀徒総会・お楽しみ催事

10月 薬師講まつり

12/31(土) 除夜の鐘撞き

編集後記

例年 一年の総括と新たな年への思いを込めて「除夜の鐘」を撞きますが、本紙発行日の関係から、今回この記事を掲載する事ができず寂しさを感じます。昨年はコロナ禍にあり、「除夜の鐘」は承天寺役員のみで執り行いましたが、地域の皆さまの心の拠り所 行事として、「来年こそは実施できますように」と祈る思いでした。今年は お薬師さまのご加護の下、特に災いもなく皆さまが健康でご多幸の素晴らしい年でありますように…

承天寺山門 修復工事始まりました

これまで13回の調停が行われ、ようやく修復工事に着手いたしました。
調停の過程で、裁判所の専門官から一般木造建築物を修理するような観点で調停案が示されました。

旧来からの寺社仏閣の修復が原状復帰であって、ボルトなどの金具を使用しての修復は論外であり、我々は金銭交渉をしているわけではなく、平成30年の事故前と同じ状態に修復してもらいたいこと。仮に金額が提示されても我々が求めている原状復帰工事を受けてくれる業者がない場合は誰が決着してくれるのか、檀信徒を代表する者として事故後4年以上も放置されていることに憤りを感じている。これ以上時間を費やすわけにはいかないことを強く主張しました。

この間、石川工務所には弁護士を含め私たちの主張を技術的側面から全面的なサポートをしていただきました。あわせて、調停で最終提示された内容で修復工事が可能か否かも確認したうえで調停案を受諾致しました。この調停案を受諾しなければ、改めて裁判を行うことになり、山門修復に着手できないこと。今後の裁判費用や決着時期が見越せないことなどを踏まえ、今回の決着に至りました。

当然、事故における過失は寺側にあるものではありませんが、法廷で調停が行われることになり予想外に時間を費やしたことは遺憾としか申し上げようがありません。専門官が当初提示されたボルト等金属を使わない工法で、提示額で修復可能との見通しが得られましたことから、当初から被害状況調査や調停にも出廷いただき、内容を十分把握されている石川工務所に発注した次第です。

山門上部をジャッキアップし柱の交換や損傷個所に修理を施すといった特殊な工法で施工するため工期がかかりますが、檀信徒の皆様にはどうぞご理解の程お願い申し上げます。

令和4年 正月

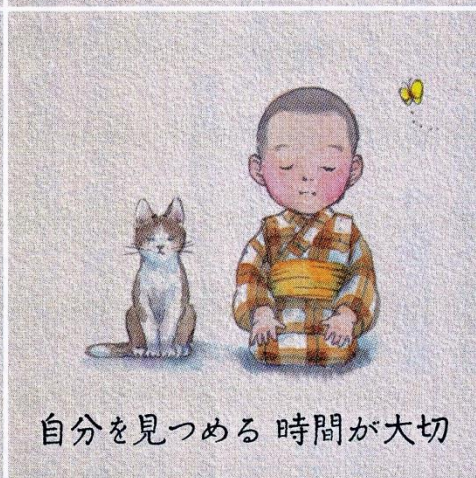
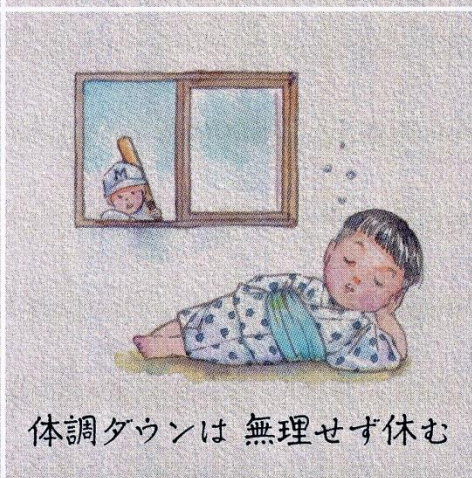


承天寺

住 職	船場 正譲
総 代 長	田邊 弘巳
副総代長	米山 鐵平
総 代	櫻井 隆彰
総 代	湯山 迪男

人間の尊さにめざめ 自分の生活も 他人の生活も大切にしましょう

[妙心寺派生活信条]



臨済宗 妙心寺派

醫王山 承天寺